



に止まっています。和牛子牛の生産は、昨年暮れまでの価格の好況に支えられ次第に上向き、授精頭数の上向きから、四十年を底に漸増を示しており、高梁家畜市場への今年の出荷見込みも、昨年実績をやや上回るものと思われます。しかし価格面では、本年に入つての高梁家畜市場でのセリ価格は、四十一年來の高原相場からようやく反動期に入り、総平均二月八万七一三円（対前年比八〇%）、六月八万六、四四八円（対前年比七五%）と大巾に値下りし、遂に肉用子牛価格安定基金加入早々に、価格差の発動を受けることになったのは誠に残念で、折角のこと数年の盛り上った和牛熱への影響が懸念されます。

和牛の飼育規模は、やはり一・二頭飼いが大半で、肥育経営では年間二〇七三〇頭経営のものも大分見受けられるようになつたとは云え、繁殖経営での山野利用の放牧形態のものはほとんどみられず、経営への付属的な、いわゆる糞畜ないしは、年一回の年寄のボーナスといつたものが大部分であります。畜産共進会への出品を生き甲斐とする、優れた育成農家もかなりありますが、手塩にかけた立派な出品牛も、共進会が終るとほとんどものは他へ転売してしまい、これを自家の繁殖の基礎牛として経営拡大に向ける者は非常に少ないので現状です。また經營改善の意欲の点でも、和牛農家は、放牧活用のための権利の解決、放牧施設

の設置、乾草生産、飼料作物増産などまでの積極性も薄いようです。

また和牛の改良については、凍結精液による種雄牛の計画交配や、登録審査の改訂等により、急速な肉用タイプへの転換が進められつつあり、明年五月十日からは、全国和牛能力共進会が鹿児島で開催され、和牛の産肉能力の齊一化をあげた、地域ぐるみの有機的な振興努力が、より強力に展開されなければならないことが目的にうたわれています。しかし最近までの共進会等での脱皮を早急に進めなければならぬ、行政機関はもとより、農業団体、和牛農家をあげた、地域ぐるみの有機的な振興努力が、より強力に展開されねばならないことが目的にうたわれています。

最近の牛肉価格の低迷は、すでに農産物輸入自由化の影響を受けはじめているものでありますし、一方和牛の生産面には色々の問題をかかえているわけですが、改善の方向としては、①より飼料の確立と普及がまず早急に望まれます。②については人工授精技術の向上を経営による現地実証的な研究、指導を進めて、体系技術の確立を図るほか、山地の畜産の開発利用のための基本法の改正整備と、行政指導の強化が必要であろうと思います。

### 酪農について

畜の生産拡大は、肉資源の国内自給確保という国家経済的な要請であります。経済の原則に立つより、むしろ趣味的、投機的あるいは隨性的な和牛飼育熱に負ふところが大きい現状のままでは、農家の所得の中での和牛の経済的位置が相対的に低下して、ジリ貧は免かれないとわれます。そこで和牛の飼養は、今こそ経営目標のある新しい経済的飼育方式への



農林事務所畜産係長の発言 (その2)

畜  
產  
雜  
感

高梁農林事務所畜産係長 片山秋坪

### はじめに

岡山県畜産会からの執筆割当により、二番手を承り抄文を呈し、諸先輩の皆様方の御批判を賜りたいと存じます。

有畜經營から主畜經營へと、戦後の短期間に急激に發展を遂げた畜産は、今や規模拡大が急速に進む第三期を迎えつつあります。当高梁管内地域は、県下でも最も地理的条件の悪い地区が大部分を占め、また地区によつて非常に変化に富んでおり、それだけに畜産振興行政に携りながら遭遇する問題点多いように思ひます。以下思いつくまま管内の畜産の動きの一端を紹介しながら、感じられる問題点等について述べることにいたします。

### 地域の概況

高梁地域（上房郡、川上郡を含め）の農業立地条件では、まず地形に恵まれないこと、つまり、農家の多くは傾斜地に散在していることが特徴的です。上房側と川上側では多少の差はありますが、地区面積の大部分は傾斜の強い山林原野で、その山麓、中腹、山頂台地および河川沿岸低地等に零細規模の耕地が点在しております。農地面積は総面積の僅か一二%で、県下平均の一五%を下回り、その内、畑

地の低下はさらに静かに進んでいます。これは、今年の高校、中学校卒業者で、唯一名も地元に残らないといった状況も過疎との関連で、旧村単位でも現在バスが一日一往復、急坂の石コロ道が村の生産線といったところも多く、オーバーな云い方をすれば、長年の農民の労苦を膚に感ずる思いを味わいます。

### 肉用牛について

当地域の飼養頭数は七、六〇〇頭で、全市町に肉用牛振興計画がありながら、これは当地域の農業振興上の大きな問題点の一つです。

が三三%を占めています。地形の複雑なことは、地区着任一年、かなり管内を回りましたが、細部の道路関係は未だ呑込

られない状況で、町道、農道ともなれば、カーブと勾配の実に多いのに驚きます。

過疎との関連で、旧村単位でも現在バス

命線といったところも多く、オーバーな云い方をすれば、長年の農民の労苦を膚に感ずる思いを味わいます。

過疎の出た序で、当地域の過疎もかなりのもので、昭和三十年と四十二年

の比較でも、七年間に管内平均で一三、三多もの減少を示しています。地区によ

っては、今年の高校、中学校卒業者で、耳にします。また朝に夕に、県南工業地帯への労務者輸送のマイクロバスの往来をよく目にする昨今です。優秀な農業後

継者も各地で頑張っておりますが、全般的には農業労働力の老齢化は避けられず、質の低下はさらに静かに進んでいます。

たした状況です。農業経営の高度化、専門化が否応なしに要請される現状から、この比較でも、七年間に管内平均で一三、三多もの減少を示しています。地区によ

り、農地面積は総面積の僅か一二%で、県下平均の一五%を下回り、その内、畑

地の低下はさらに静かに進んでいます。これは、今年の高校、中学校卒業者で、唯一名も地元に残らないといった状況も

過疎との関連で、旧村単位でも現在バス

明日の日本酪農を創る

多収性、耐病性に匹敵する、他に類を見ない

**雪印保証種子**

SNOW BRAND CERTIFIED SEED

雪印種苗株式会社

岡山営業所 岡山市巣路1482の1 TEL(52)0395

◎カタログ進呈、御相談、その他御来店お待ちします。

## 化血研の 動物用ワクチン・血清・診断液

財團法人 化学及血清療法研究所

熊本市古京町3番1号 53-6331

事務所=東京・大阪・長崎 支所=阿蘇・鹿児島

が意欲を燃やしており、恵まれない自己の立地条件の中で、創意工夫次第によつては、安定した経営が出来得るという範を示しております。

ところで、これらの伸びの状況を地区的にみれば、その傾向は同一でなく、次第に伸びる地区と横バイの地区とに分れ

てきており、今後においても地区あるいは部落的に集団化した形での発展が期待できるようです。これらのうちの最右翼は賀陽町です。

このような管内の状況から、地区的酪農の伸びる条件を概括してみますと、①飼料作物、草資源等の自給飼料基盤が手近に確保されること（確保の努力も必要）、②市町村あげての強力な指導体制、が大きな力となっているようです。③については、市町村と農協の基本方針が一致するの勿論、地元独自の奨励予算、指導技術員の配置や活動への配慮をも含めた、横の連繋分担がスムーズにいっていると

いうことです。

つぎに多頭化と放牧経営のユニークな話題を一つ加えますと、本年に入り成羽町内において福山市のH氏が、町有山林七〇haを借り受け、五ヵ年計画で自己資金により乳牛（ホル）の山地放牧による、省力多頭化経営を行なうべく第一

度事業の建設を実施中で、すでに一・五

haの飼料作物を栽培し、本年秋頃から乳牛を現地に導入することにしており、最終的には一二〇頭の経営にまでもつてい

く計画のようあります。高知市の山地は、酪農で有名な岡崎正英氏の指導を受け、広大な山野の開発利用に、大資本の進出ができるようになりますので、これが成功すれば、急峻な山地の畜産利用の面で、なければならぬ、また農林省の範囲だけでは止らず、国の経済政策全般に関連と期待されます。

## その他動き

さらに最近の情勢で目立つものは、広

地の畜産農家への大きな啓發になるものと期待されます。

畜産はやはり専業的、主畜の経営が本命で、このように畜産育成のための土地基盤の減ることは、過疎対策とは云えやはり思わしくない）がいたします。しかししながらこのようないかだらの畜産における諸々の問題点も基本的には、農業の問題として共通のものであり、それは土地基盤の問題であり、労働力の質量の確保であり、生産物価格安定の問題であり、

畜産の基礎となる強力な土地の基本法や政策が必要ではないでしょうか。農業地盤整備法もこのほどよいよ施行できるような運用が待ち望まれます。

EBCのマンスホルトプランでは、地価と經濟圧迫の中でのEBC農業の転換を図るために、離農促進、零細農民の転換を行なうのに、一〇年間にわたり毎年九、〇〇〇億円以上の予算を注ぎ込み、年金制度を充実し、老後保証による經營委譲の促進、離農の円滑化を図ることにしているといいます。我国における根本対策の充実を望むや切なるものがあります。

当地開発公団（仮称）を設置して、①土地（休閑農地等）の買収を行ない適宜整備して規模拡大農家に採算可能な土地開発公団（仮称）を設置して、

（②）の雑木林等低利用山林の買収、売り渡し権利調整等を行ない、畜産的利用促進のため助成を考慮する。

（③）のマニスホルトプランでは、地価で売り渡しをする。

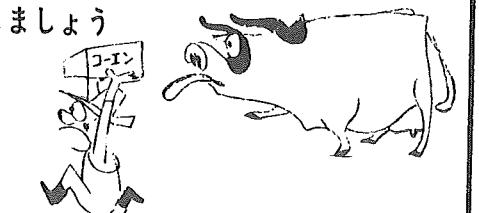
（④）は如何でしょうか。

## 肥育牛に多発している 尿結石症を治療・予防しましょう

### 固定カウストン

乳質改善 乳量増加に

毎日 鹽 塩 をあたえましょう



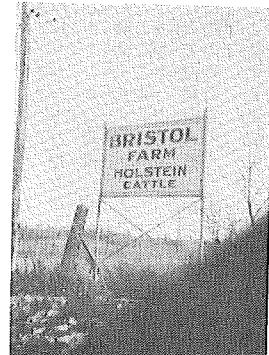
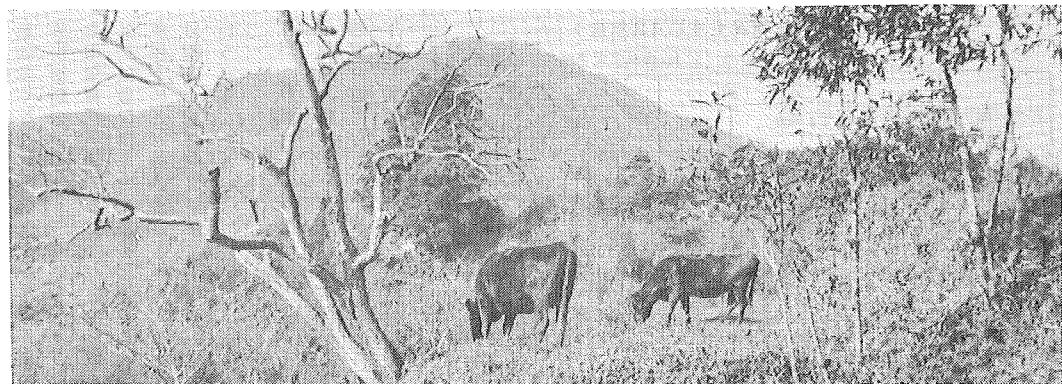
日本全薬工業株式会社 岡山支店

岡山県津山市坪井町34 TEL(2)9251

（1）グレービューフ農場  
この農場はウイスコンシン州南西ユニオン・グローブというところにあって、約五〇〇エーカーをもつて、その隣接の八五エーカーの土地を賃借しており、この耕地は耕作に適するよい土地で、計五八五エーカーの農場経営である。本宅は本來グレーの色であったためこの名がつけられている。現在は白色である。農場は一九一二年来改良に努めてきたが、現在の牛の基礎は一九四〇年代の初めに作られたといわれる。

農場実績の中（パンシー・バートン、デコレル・バークリー）はクラス・エキセント、産乳能力一〇万ポンドでゴーリドメタル三頭を出している）同一親の姉妹で（ネル・パンシー・バートン、デコレル・バークリー）はクラス・エキセント、産乳能力二〇万ポンド、二頭のゴーリドメタルの娘牛を出している）、一九六八年オール・アメリカンに同父系系統群の部でメープル・クリッサ・オート（ベリー・グッドハリ）、グレービューワード、クリクロス・エックス、トーキス・クリクロス・パットが入賞を確得した。

（2）シャンブリツク農場  
イリノイ州のロック・フォードについて、一流のものといえる。この農場はトラ



プリストール農場入口看板

クターの製造で金をもうけた人がつくったのだが、現在の経営者であつた女主人が急に亡くなつたため農場を解散することになつて、ここもシャン・シャイン農場と同じく後継者がないための処分である。

農場の支配人は五〇がらみの丸顔で、小型の眼鏡をかけ、短かいオーバーを着て両手をオーバーのポケットにつっこみや前かがみ気味の人で、帽子をチョコンと頭にのつけ、田舎のオッさん然たる風貌である。

彼いわく、初妊牛の購買ほど実に困難な仕事はない。ギャンブルにも（馬券買ひに）等しいものだ。二〇頭求めて八頭あれば最上とすべきだ。これら等では後押しをやらない。搾りすぎをしない。乳房炎をおこさない。搾乳時間は短かくす

る。四〇頭一時間くらいで搾る。前蹄は専門屋にまかしていると話してくれた。の考えは、①頸の長い肋張りのよいもの、②肋間に指が三本くらいはいるもの、③乳房は巾広く附着の高いもの、④乳頭は外向きでなく内向きのものがよい。⑤八九才になつても乳房の下がないものしかも附着部に細かい縦じわが多いもの、⑥皮膚にゆとりのあるものなどをあげていた。（彼は畠り出しものを見付け、立派な牛に育てあげる人だと聞かされた。自ききおやじといえる。）

本場には日本人実習生が二人いたが、英会話をわかりだしたし、この際もっと勉強して帰りたいと希望をいっていた。兩州とも北海道に似たところともいえ、とはいひたいと希望をいっていた。

兩州とも北海道に似たところともいえるが、酪農家も夏は農場（草刈り作業など）の仕事が加わるので多忙だが、冬は暇であり一〇〇頭程度の飼養で三人（アメリカ人一、日本人二）がのんびりと作業をやっていた。作目はとうもろこしと牧草（主にルーサン）で、寒い地帯であるのでサイレーン利用重点となる。とうもろこしはコーン・ハーベスターによつて刈られ高刈りである。

本場からの輸入牛にシャンブリック・サイテーション・マーク（四十年輸入ラグアッパル・バーク系がある。

（3） クレセント・ビューティ農場  
ウイスコンシン州のフォート・アトキ

（4） ウィラード・ネール農場  
全日本ホルスタイン共進会が福島で開かれた時、これに出席するためネール氏は奥さん同伴で来日し、日本見物もしたと語っていた。この農場は大型のもので耕地面積五、〇〇〇エーカーを越えるものを持ち、飼育頭数約七〇〇頭といわれ、うち搾乳牛約五〇〇頭である。

耕地の作付区分をみるととうもろこし四〇%、牧草二〇%、残り四〇%エンバラグアッパル・バーク系がある。

土地は三~四年草作りしたあとにとうもろこしをまく、とうもろこしの種子をまく前にアメロジンとかいう強い雑草殺

（5） ブリストール農場  
耕地四八〇エーカー、乳牛二二〇頭（搾乳牛九〇）、日本人実習生三名とアメリカ人雇用者四~五人が働いていた。主に牛舎の手入れが行き届いていない感じだった。牛舎で働く時間は、朝五時頃から午後六時頃まで、昼は休み、日曜は休日がもらえることになっている。この外にも有名牧場で、岡山県が輸入したパブスト・ウォーカー・コバーケの生産牧場であるパブスト農場が、ウイスコンシン州のオコノモウオク東南にあり、有名種雄牛キング・ベッキー・ジエラルディン号を一九二六年に国が輸入しているが、この牛を生産したのがエルムウッド農場でイリノイ州のレイク・フレミング号である。

（6） ネール牧場  
渡米以来初の譲易する寒の薬をやっておく。肥料は液体窒素肥料も用いている。

最近肉用牛の多頭飼育の方法として、放牧がとりあげられてきた。即ち、從来の舎飼いからこれにかわって、自然草地や改良草地に放牧して、多数の牛を省力的に飼育しようとするものである。特に草地の造成や、開発が公共事業として強く推進され多くの草地を造成し、肉用牛の放牧が行われるようになつた。

しかし、その状態をよく観察して見るとき、草地の管理や、放牧技術に重点があつて、むしろ放牧牛の衛生や病気の発生に対し関心がうすく、健康で正常な発育を遂げざせるためには、放牧衛生が極めて重要なことである。

草地へ多數の牛を放牧して起る種々の病気の予防治療の必要なことは言うまでもないが、春の放牧初期や、晚秋における昼夜の温度差、梅雨期の雨、夏の炎暑等の環境の悪条件や、季節の移り変りに伴う草の生育の変化等、自然の感作は、

## 肉用牛の放牧衛生について

### 業務部長 小 割 利 美

家畜に対して相当きびしい影響を及ぼすことになる。

このようなことは、放牧牛の病気に対する抵抗性を弱めて、種々な病気を誘発することになり、従つて放牧牛の衛生管

理は、疾病だけを対象にしたものではなく、放牧牛の生態生理から見た環境によく考えながら対策を進めて行くことが必要である。

#### 1 飼料の変更時における適応性

放牧初期には、環境の急激な変化の影響をうけ、種々の病気や事故が発生しやすいので、全放牧期間を通じてこの時期が最も細心の注意を要し、放牧における被害の大半のものは、放牧初期に最も多くなることは衆知のことである。

#### 2 高蛋白低カロリーは牛に悪影響を与える。

牛は放牧することにより飼料の急変と、春先の牧草の栄養分、特に高蛋白飼養に対する適応性の遅いことは欠点としてあげられる。これらは反芻動物である牛の第一胃の機能に起因しているものである。即ち、第一胃内に棲息する微生物群は、摂取した栄養分を第一胃内で酵解分解合成を行っている。第一胃内の微生物群は、飼料の種類により、それに適応した微生物群を形成する。飼料の種類が変わった場合、それに適応した微生物群を形成するのに一定期間を必要とする。飼料の変更、環境の変化に對して十分適応するには、約一ヶ月程度必要と言われている。

入牧初期の牧草は水分が多く、乾物量に対する蛋白質含有量も、豆科牧草を三〇%程度混播しているものでは、二〇~二二%で、養分総量は、六〇~六五%である。生後六~一〇ヶ月令の牛の要求する栄養比（蛋白質/養分総量）は、六七程度であるが、これを牧草のみから養分を摂取するとなれば、牧草の栄養比は、三程度となるから高蛋白低カロリーとなるが不足し、カロリーを十分量摂取すれば、蛋白質量は飼養標準の二倍以上になることになる。

とくに舎飼いから放牧に移る場合は、運動量が増加するため、カロリーの消費

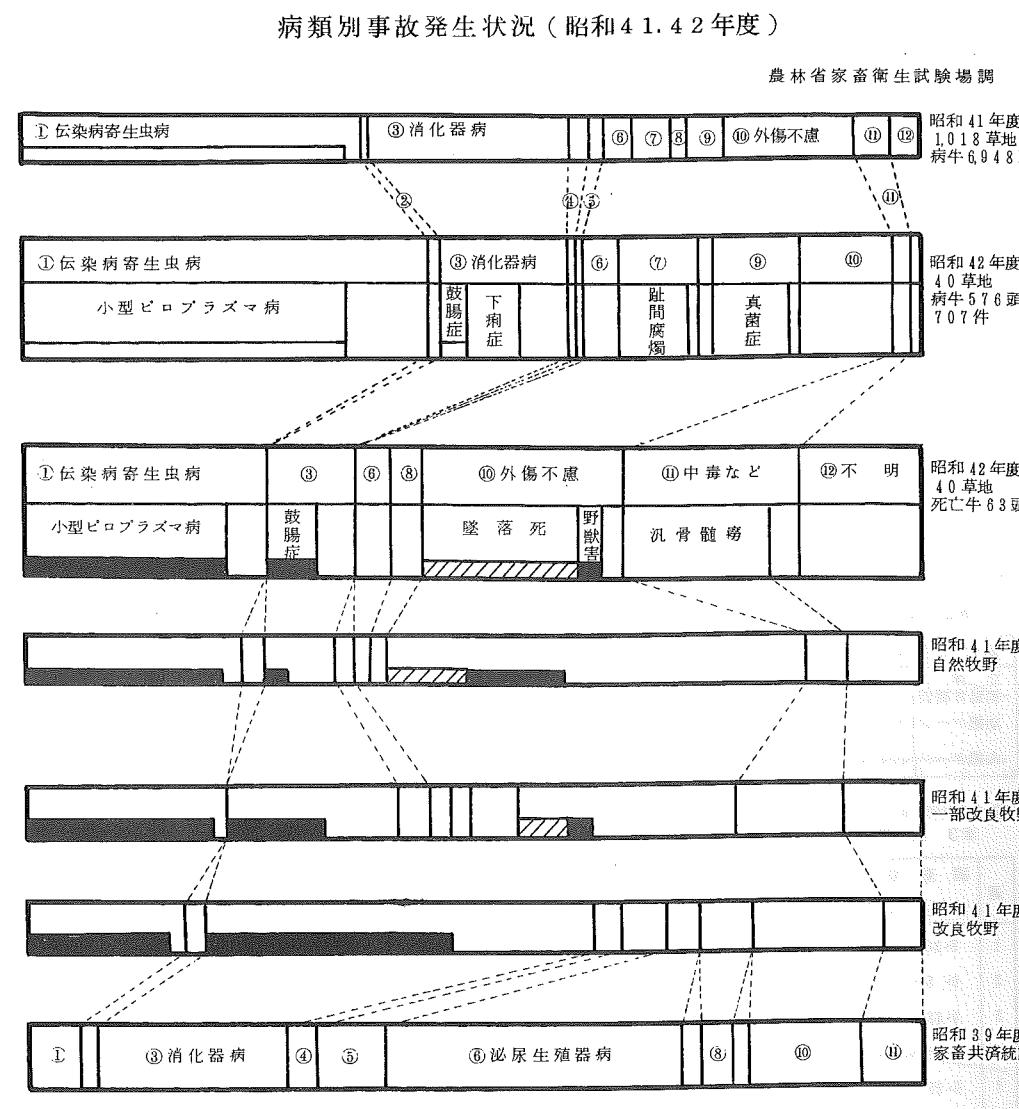
量は多くなり高蛋白低カロリーとなり、放牧初期の栄養低下が考えられる。これらの栄養低下に対しては、入牧初期の牧区には草科牧草の混播率を多くても一〇%以下にとどめるとともに、入牧後二〇日程度、低蛋白高カロリー飼料の補給を行う必要がある。

放牧初期の栄養低下が考えられる。これらの栄養低下に対しては、入牧初期の牧区には草科牧草の混播率を多くても一〇%以下にとどめるとともに、入牧後二〇日程度、低蛋白高カロリー飼料の補給を行う必要がある。

## 二、盛夏期の衛生管理

## 三、秋期の衛生管理

3 疾病予防について  
ピロプラズマ病、肝蛭、線虫類、肺虫の定期的検査と、治療、駆虫を行う。流行感冒、気腫疽の予防注射などを実施する。



病類別事故発生状況(41・42年度)

(農林省家畜衛生試験場調)

大病類別	発 病		死 亡			
	42年度		41年度			
	件数	%	件数	%		
1 伝染病寄生虫病	352	49.7	435	17	27.8	
2 全 身 病	2	0.3	0.7	0	0.7	
3 消 化 器 病	109	15.5	21.5	7	11.1	
4 呼 吸 器 病	4	0.6	1.8	0	0	
5 循 環 器 病	1	0.1	0.4	0	0	
6 運 動 器 病	62	8.6	4.2	0	0	
7 生 殖 器 病	35	5.0	4.8	3	4.8	
8 神 経 系 病	7	1.3	1.0	3	7.8	
9 皮 肤 病	50	7.1	4.8	0	0	
10 外 傷 不 虑	62	8.8	11.9	15	28.8	
11 中 毒 な ど	14	2.0	2.7	11	17.4	
12 不 明 不 詳	7	1.0	2.6	7	11.1	
計	707	100	100	68	100	
					100	

3 疾病予防について  
気温の急変や、夜間の冷気などによる感冒、急に青草だけを食うためにおこる下痢、鼓腸症に注意する必要がある。

3 疾病予防について  
牛は発汗作用が少ないので体表面から水分発散による熱放散も少なく、高温に対して弱く二十五度以上は牛の生理に悪い影響を及ぼす。牧野のくば地のようなところで風通しの悪いところでは、体温調節が十分に行われず疲労のもとになる。庇蔭林や被蔭舎を牧野内に設置して、日射病や熱射病を予防すること。

2 夏枯れに注意すること

2 夏枯れに注意すること  
牧草の生育温度は五度～二五度ぐらいで、一七度～二〇度で生育が最も盛んとなる。夏期平均気温が二二度～二五度をこえると生育が停滞し夏枯れ現象がおこる。さらに高温に加えて水分が不足すると、夏枯れはますます激しくなるので、放牧頭数、放牧日数に注意して栄養不足を感じること。

1 汗骨髓炎(ワラビ中毒)について  
牛の汗骨髓炎の原因は不明の点が多いが、ワラビ中毒と考えられている。牛はワラビや有害草は普通食べないものであるが、青草の少なくなった秋に発生する傾向がある。症状は食欲が減退し、可視粘膜、体表の出血、体温の上昇(四十度以上)粘血便を排泄するものがあり、脱力して死亡する。血液学的には、白血球の減少とくに骨髄系の顆粒細胞の激減、あるいは消失する。失、血小板の減少が著しく、赤血球の大失血がみられる。

2 疾病予防について

2 疾病予防について  
流行性感冒に注意すること。また、終

かに舍飼にうつること。

第一胃の機能強化促進に!!

**トルラミン**

必須ミネラル  
ビタミン総合栄養剤

ミヌスター・ゴールド

○第一胃内ミクロフローラの発育、増殖の促進剤  
○食欲不振、消化不良  
食滞、急・慢性鼓脹症、第一胃機能障害によるケトーシスなどに有効  
○1回100gを3～5日内服

500g (100g×5包)

東芝製薬株式会社 川崎市中原3-19-11  
TEL 川崎(28)1319(代表)

SQUIBB 増体と肉質の改善にすばらしく効く

天然ホルモン肥育剤(耳根皮下移植剤)

**シノベックス**

S(去勢牛用)一黄色ベレット  
H(雄牛用)一白色ベレット

輸入元 日本スクイブ株式会社 発売元 昭和薬品化工株式会社  
東京都港区赤坂3丁目2番6号(赤坂中央ビル)  
東京都中央区宝町1-5(味の素第一新館)

# 養鷄試験場たより

## ブロイラーの飲水量について

技師妹尾文雄

### はじめに

鶏の飲水要求量を知ることは、鶏の生理および飼養管理上重要なことであり、卵用鶏の飲水量については、三月号に紹介したとおりである。

本稿では、八月餌付けのブロイラーの場合の飲水量について調査を実施したので、その結果の概要を紹介する。

### 一、調査方法

供用鶏は昭和四十三年八月二十八日餌付けのブロイラー雛（ホワイトコニックス×ホワイトロック）を雄五〇羽、雌五〇羽、計一〇〇羽を供用し、八月二十八日から十一月六日までの一〇週間（七〇日間）調査した。管轄方法は表一のとおり当場慣行により行ない、給与飼料は

表1 給与飼料

給与期間	飼料名	保証成分(%)				飼料の形状
		c·p	c·f	c·fi	c·a	
0~24日令	ブロイラー前期	220以上	30以上	60以下	90以下	オールマッシュ
25~70	ブロイラー後期	180〃	30〃	65〃	90〃	〃

飼育方法	期間	三時、一七時の三回			市販飼料を用い、保証成分等については表二のとおりである。
		気温および湿度	水量	重量	
立体制式 給温育雛器	0~14日令	毎日九時、一三時、一七時の三回	水量を秤量して実飲水量を求め、一週間の平均値を週別飲水量とした。	給与し、翌朝残水量を秤量して実飲水量を求め、一週間の平均値を週別飲水量とした。	飲水量は毎朝秤量して給与し、翌朝残水量を秤量して実飲水量を求め、一週間の平均値を週別飲水量とした。
幼雛ケージ	15~29				
大雛ケージ	30~70				

表3 飲水量・飼料摂取量、および平均気温・湿度

週	調査期間 月・日	飲水量(cc)		飼料摂取量(g)		飲水量 飼料摂取量	平均温 (C)	平均湿 (%)
		1羽1日	1羽1週	1羽1日	1羽1週			
1	8.28~9.4	19	133	12	84	1.58	24.8	79
2	9.5~9.11	38	266	26	182	1.46	25.7	77
3	9.12~9.18	62	434	41	287	1.51	23.4	79
4	9.19~9.25	83	581	58	406	1.43	22.9	78
5	9.26~10.2	105	735	73	511	1.44	22.5	85
6	10.3~10.9	126	882	89	623	1.42	22.1	78
7	10.10~10.16	149	1043	106	742	1.41	18.0	69
8	10.17~10.23	167	1169	119	833	1.43	17.0	63
9	10.24~10.30	176	1232	128	896	1.38	16.9	65
10	10.31~11.6	184	1288	136	952	1.35	17.3	63
計または平均		7,763		5,516		1.41	21.1	73.6

表4 体重と飲水量の関係

週令	1	2	3	4	6	8	10
体重(g)	106	221	395	615	1,140	1,735	2,276
飲水量(1日cc)	28	50	72	94	135	172	188
飲水量/体重(%)	26	23	18	15	12	10	8

度との関係も深いと思われる。すなわち、過令が進むにつれて多少の増減はあるが、やや減少するようと思われた。この調査では一・五八から一・三五という全飲水量は七・七六三であった。一羽あたりの餌付けから一〇週令までの全飲水量は七・七六三であった。

測定し、その平均値を求めた。

### 二、調査結果

#### 1 週別飲水量

週別飲水量は表三、図一のとおりであり、ほぼ直線的に増加する傾向がある。

#### 2 飲水量と飼料摂取量との比

市販飼料を用い、保証成分等については表二のとおりである。

飲水量は毎朝秤量して給与し、翌朝残水量を秤量して実飲水量を求め、一週間の平均値を週別飲水量とした。

表二のとおりである。

飲水量を秤量して実飲水量を求め、一週間の平均値を週別飲水量とした。

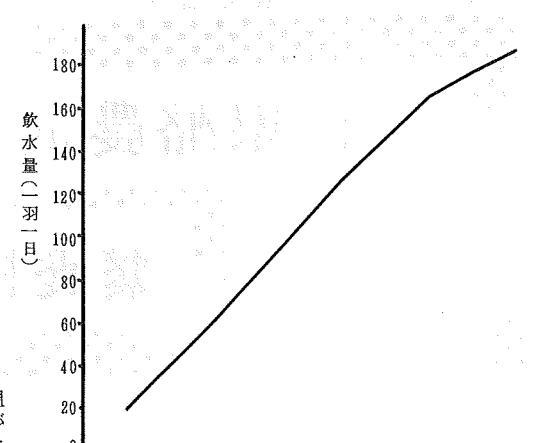


図1 週別飲水量

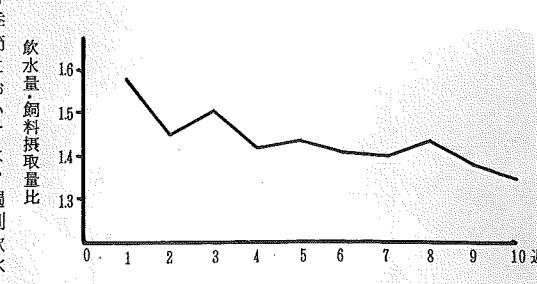


図2 週別飲水量・飼料摂取量比(飲水量/飼料摂取量)

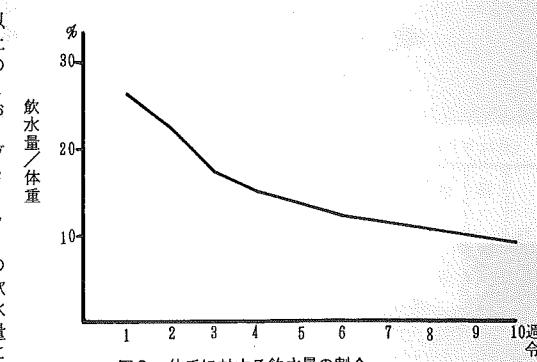


図3 体重に対する飲水量の割合

この調査では、気温、湿度とともに前半から後半に逐次低下しており、飲水量は第一週から八週までは、ほぼ直線的に増加の傾向をたどっているが、第九週以降においては、その割合がやや減少し、ゆるやかなカーブをとっている。これはこの期間中の気温、湿度がともに比較的のブロイラーの飼養環境に適したためと考えられる。この調査における第九週以降は、気温が逐次低下する季節であつたため、飲水量がゆるいカーブをたどったと考えられるが、時期的に気温差が少なく、あるいは日令が進むにつれて、しだいに気温が進むにつれて、しだいに気

おわりに

“酪農・養鷄機ならお任せ下さい”

農業機械ならなんでも揃う店

岡山市柳町一丁目一の一七

小六農機株式会社

TEL 岡山④0307代 沖山市外専用 110  
営業所 高梁・金川・児島

## XI ロングフィールド トロンボーン バンカー

### 2 経歴

本牛は北海道勇払郡で繁殖され、昭和三九年三月本県に導入、昭和四〇年六月から供用開始し、昭和四三年三月までに延べ二、七六九頭に授精を行なった。

下表のとおり

### 4 体各部の測定値

体重 1,014 kg (5才11月)

体高	151.0	100とした比	尻長	62.0	41.0
十字部高	148.0	98.6	腰角巾	61.0	40.3
坐骨高	143.0	94.7	巾	57.5	38.0
体長	187.3	124.0	坐骨巾	43.0	28.4
胸深	82.8	54.8	胸囲	237.0	156.9
胸巾	62.1	41.1	管囲	23.0	15.2

### 6 泌乳能力

#### 調査中

(1) 好ましい形質  
前肋胸は良く充実し肋腹も良く開張し、乳房の質が良い。  
尻の形状や、悪く乳頭にばらつきがある。

(2) 好ましくない形質  
尻の形状や、悪く乳頭にばらつきがある。

(本調査は各組合へ娘牛体型資質調査を依頼し、とりまとめたものである。)

### 7 子牛への遺伝力

NO 38146 HCAJ

生年月日 昭和37年12月25日

体格得点 83.0 点

产地 北海道

### 1 血統

父 ロングフィールド パーク バンカー

祖父 カーネーションアイデアルバンカー

祖母 ロングフィールドダヴィドソンパーク

母 ロングフィールド トロンボーン

祖父 アーリンダ トロンボーン

祖母 ロングフィールド マダム

### 3 特徴

性質温順、皮膚被毛良好で中軸も良く充実しているが、尻の形状がやや悪く肢蹠がやや弱い。

体格得点 79.0 点

2才7月365日3回

乳量 9,336.1 kg

乳脂量 39.85%

乳脂率 42.7%

体格得点 79.0 点

2才365日3回

乳量 8,965.3 kg

乳脂量 37.83%

乳脂率 42.2%

7才1月3回

乳量 11,418 kg

乳脂量 47.0 kg

乳脂率 41.1%

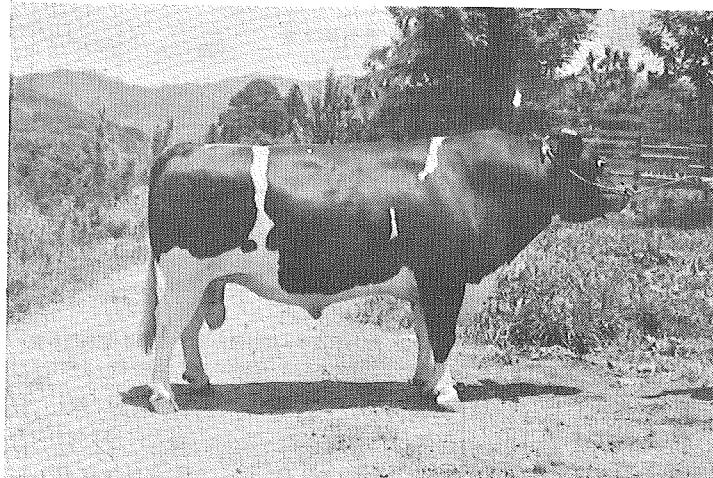
## 岡山県酪農試験場

### 繫養種雄牛の概要

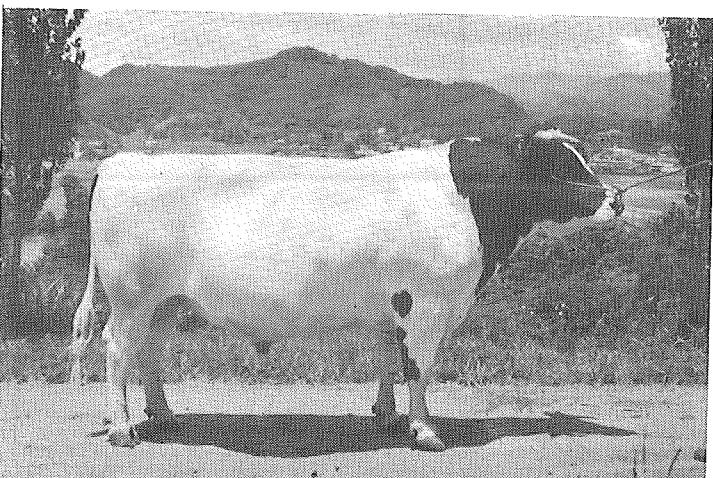
#### 乳用種雄牛の性能について

酪農振興を図るために、乳用牛の改良増殖を積極的かつ効率的に実施することが必要であり、また改良の上種雄牛の占める役割は極めて大で

この種雄牛の性能を早期に知るため性能調査事業を行ない効果を上げております。



ロングフィールド トロンボーン バンカー



バーポイ ミドリ ルンド

すが、この度、紙面をお借りして、その結果の判明したもの、および各専門農協、関係団体等の協力で、遺伝能力を調査したものについて、遂次報告しますので、皆様の種雄牛選択の参考にして下さい。

### 5 高等登録得点配分

#### (1) ロングフィールドトロンボーンバンカー

(審査月令 5才11月)

品種の特徴	肩	背	腰	尻	頭	甲	筋	被毛	蹄	皮膚	巣	前	肋	前	後	計
	83.0	83.0	80.0	85.0	87.0	84.0	85.0	82.0	83.0	82.0	80.0	80.0	83.0	83.0	83.0	

#### (2) 娘牛

ア 昭和43年秋娘牛1頭の得点

品種の特徴	肩	背	腰	尻	頭	甲	筋	被毛	蹄	皮膚	巣	前	肋	前	房	乳	計
	76.0	76.0	76.0	74.0	77.0	76.0	77.0	77.0	78.0	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0	76.0	76.5	

暑中御見舞い  
申し上げます

社団法人 岡山県畜産会の住  
所が次のとおり変更になりました。

新住所  
岡山市下石井2丁目6番45号  
社団法人 岡山県畜産会  
電話 岡山22-8575

新しい16mmフィルムが  
入りました

### 肉用牛の生理と栄養

お申し込みは次へ  
肉牛の多頭肥育で問題がでてお  
ります。一度ごらん下さい。  
貸し出し料 1,000円

岡山市下石井2丁目6番45号  
社団法人 岡山県畜産会  
電話 岡山22-8575

### 泌乳能力

先に掲載した乳用種雄牛の娘牛の泌乳能力で、  
調査中であったもののうち下記の5頭が判明した  
のでお知らせいたします。掲載記事と対比し、参  
考にして下さい。

#### 1. 第7サーロメオパイオニアスシー

区分	調査頭数	平均体重	成牛型 305日 3回搾乳換算		乳脂率	無分脂固形率	平kg乳 均当 体た 重り量
			乳量	乳脂量			
娘	25	511 kg	7011 kg	2361 kg	340	822	103 kg

#### 2. 第10キングペッシースカイライン

区分	調査頭数	平均体重	成牛型 305日 3回搾乳換算		乳脂率	無分脂固形率	平kg乳 均当 体た 重り量
			乳量	乳脂量			
娘	22	508 kg	6914 kg	2458 kg	355	827	109 kg

#### 3. キングダビドソンオレーター

区分	調査頭数	平均体重	成牛型 305日 3回搾乳換算		乳脂率	無分脂固形率	平kg乳 均当 体た 重り量
			乳量	乳脂量			
娘	26	518 kg	7115 kg	2491 kg	350	822	108 kg

#### 4. スカイラーキューンキーリアリゼーションミソノ

区分	調査頭数	平均体重	成牛型 305日 3回搾乳換算		乳脂率	無分脂固形率	平kg乳 均当 体た 重り量
			乳量	乳脂量			
娘	21	505 kg	63911 kg	2259 kg	354	820	101 kg

#### 5. 第2ウォーカーアールチーパレード

区分	調査頭数	平均体重	成牛型 305日 3回搾乳換算		乳脂率	無分脂固形率	平kg乳 均当 体た 重り量
			乳量	乳脂量			
娘	26	521 kg	71325 kg	2610 kg	361	827	110 kg

本牛は北海道中川郡で繁殖され、昭和三九年三月本県に導入、昭和四十年四月から供用開始し、昭和四三年三月までに延べ三、七七三頭に授精を行なった。

### 2 經歴

NO 38257 HCAJ

生年月日 昭和38年2月18日

体格得点 85.5点

产地 北海道

### 1 血統

父 カーネーションマドキヤツバターボーイ  
母 カーネーションバターボイツユーター

祖父 カーネーションガバナルテナジユレット  
祖母 ルテナルンドパラゴン

父 カーネーションガバナルテナジユレット  
母 ルテナルンドパラゴン

### 4 体各部の測定値

### 3 特徴

性質温順、鋭角性に富み体各部の均称よろしく、  
乳器も良いが肢蹄がやゝ弱い。

体重 1,058 kg (5才9月)

体高	156.7	100とした比	尻長	62.3	39.7
十字部高	152.4	97.2	腰角巾	58.6	37.3
坐骨高	147.6	94.1	巾	56.3	35.9
体長	193.5	123.4	坐骨巾	46.4	29.6
胸深	86.7	55.3	胸闊	23.0	15.2.5
胸巾	62.5	39.8	管闊	23.0	14.6

### 5 高等登録得点配分

#### (1) バターボーイミドリンド

(審査月令 5才9月)

品種の特徴	肩	背	腰	尻	頸	頭	皮膚被毛	睪丸	乳頭	前肋	腹	前肢	後肢	計
	87.0	85.0	86.0	87.0	87.0	86.0	87.0	84.0	84.0	83.0	83.0	85.5		

(2) 好ましくない形質  
弱い。  
肩後の充実をやゝ欠ぎ、肋巾  
品位品質良好で体積に富み、  
皮膚被毛繊細で乳房の質が良い。  
(本調査は各組合へ娘牛体型資  
質調査を依頼し、とりまとめた  
ものである。)

### 7 子牛への遺伝力

### 6 泌乳能力

調査中

## 旭東酪農業協同組合

組合長 川野貞夫

〒704 岡山市西大寺浜

電話 08694-2-3824

暑中お見舞申し上げます

岡山県指定生乳生産者団体

## 岡山県酪農業協同組合

会長理事 惣津律士

〒700 岡山市磨屋町9番18-301号

電話(岡山) 0862-22-2779

## ふじや高速印刷

岡山市内山下77

電話 代表(25)4951

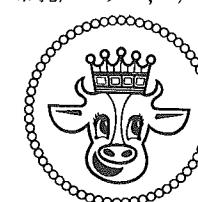
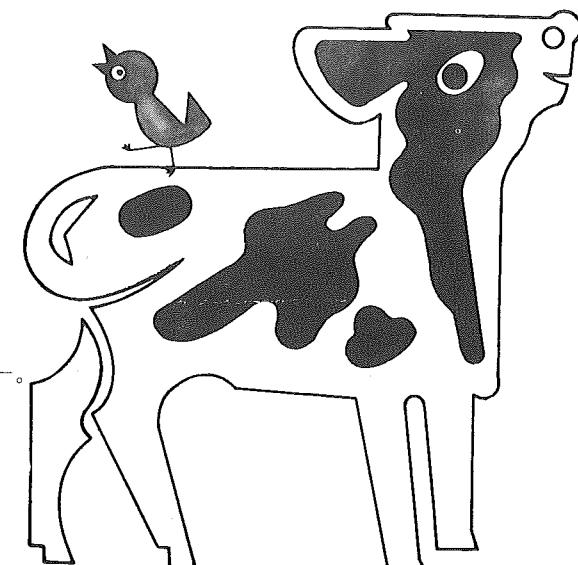
## 乳は国産 工サは全酪

団結は力!  
系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系  
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

### 主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。  
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスター。  
幼牛用、搾乳用配合飼料。  
その他酪農用飼料資材全般。  
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協!  
**全国酪農業協同組合連合会**

### 作成の目標

乳牛の疾病的発生予防を図るために、飼養管理技術の反省を促すことを目

標としている。

貿易自由化の荒波の中で、畜産も頭化→省力化が図られているが、と

もすれば省力化→省略化となり、ひいては生産性の低下をまねている。

そこで経営のための基礎技術を網羅した指導用テキスト。

### 内容の抜粋

・基礎の部  
反芻動物の栄養の特殊性。第一胃の異常発  
酵。繁殖障害。放牧病。第一胃の腐敗。  
内  
の  
微  
生  
物  
と  
發  
酵  
。第  
一  
胃  
の  
恒  
常  
性  
。

泌乳に及ぼす飼料の影響。繁殖生理。  
子牛育成の基礎。飼料の給与割合等。  
・病気の部

ついに完成!!

『乳牛飼養管理技術の集大成

### 疾病予防について』

『乳牛飼養管理の基礎知識と

監修 惣津律士

執筆 上原茂喜

参与 蔵知毅教

発行 第二〇巻 第八号

(通巻第二百三号)

昭和四十四年八月一日発行  
写真三〇枚、図五〇枚集録、二五〇頁  
価格三五〇円(送料実費一二〇円)

申し込みは岡山県畜産会へ

定価	岡山畜産便り(八月号)
発行所	岡山市桑田町一の二
印刷所	岡山市内山下七七
振替	岡山八五七五番
電話	岡山(25)4951番
一部五十円(送料共)	電話代表(25)4951番